

高齢透析患者における服薬補助飲料を用いた誤嚥予防ケアの試み

長崎腎病院

○庄林礼子 北麻紗美 山中真樹子 丸山祐子 原田孝司 船越哲

【背景】

高齢透析患者は生理機能低下による誤嚥のリスクが高い。また、限られた水分量で数種類の薬を内服しなければならない。

【目的】

高齢透析患者において服薬補助飲料(服薬らくらくゼリー：龍角散)の有用性を検証する

【対象・方法】

H25年11月の1か月間、嚥下機能低下のある入院高齢透析患者10名を対象として、服薬ゼリーを使用し、服薬時間などの服薬状況を使用前後で比較検討した。

【結果】

- ・服薬ゼリーを使用することにより、全例で服薬時のムセが消失した。
- ・口腔内溜め込み・残薬感が消失した例も見られた。
- ・期間内で誤嚥性肺炎の発生はみられなかった。
- ・内服に要する時間と水分量が約半量に減量できた。
- ・内服拒否のあった例では、拒否の回数が減少した。
- ・DW・心胸比の変化はみられなかった。

【考察】

服薬ゼリーは、限られた水分量で安全な内服が必要な高齢透析患者にとって有用と考えられる。また誤嚥性肺炎の誘発も回避するツールになりうる。